

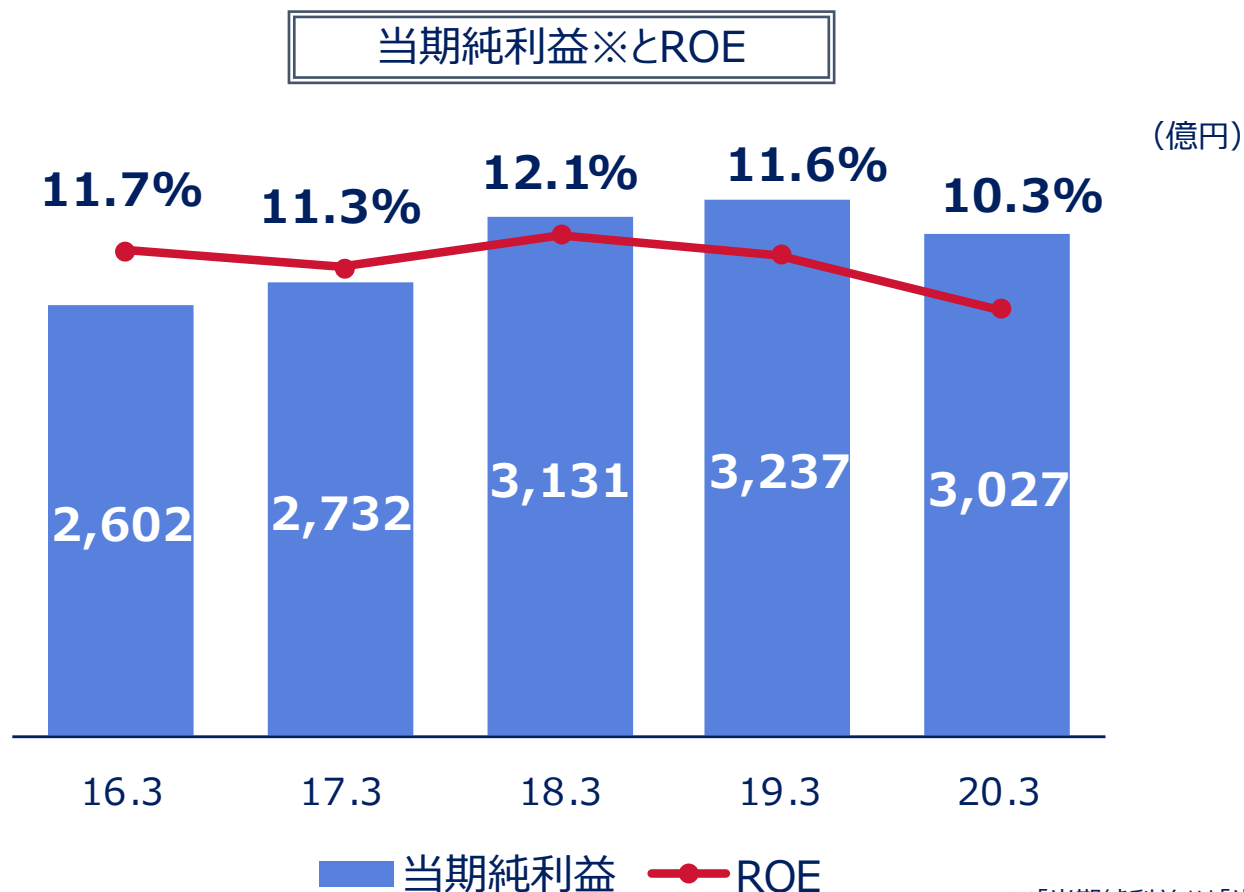
オリックス株式会社

2020年3月期 決算ハイライト

2020年5月21日

業績総括 (1) 当期純利益/ROE

- ✓ 当期純利益は 3,027億円（前期比▲6.5%）、ROE10.3%
- ✓ セグメント利益は 4,177億円（前期比+4.1%）

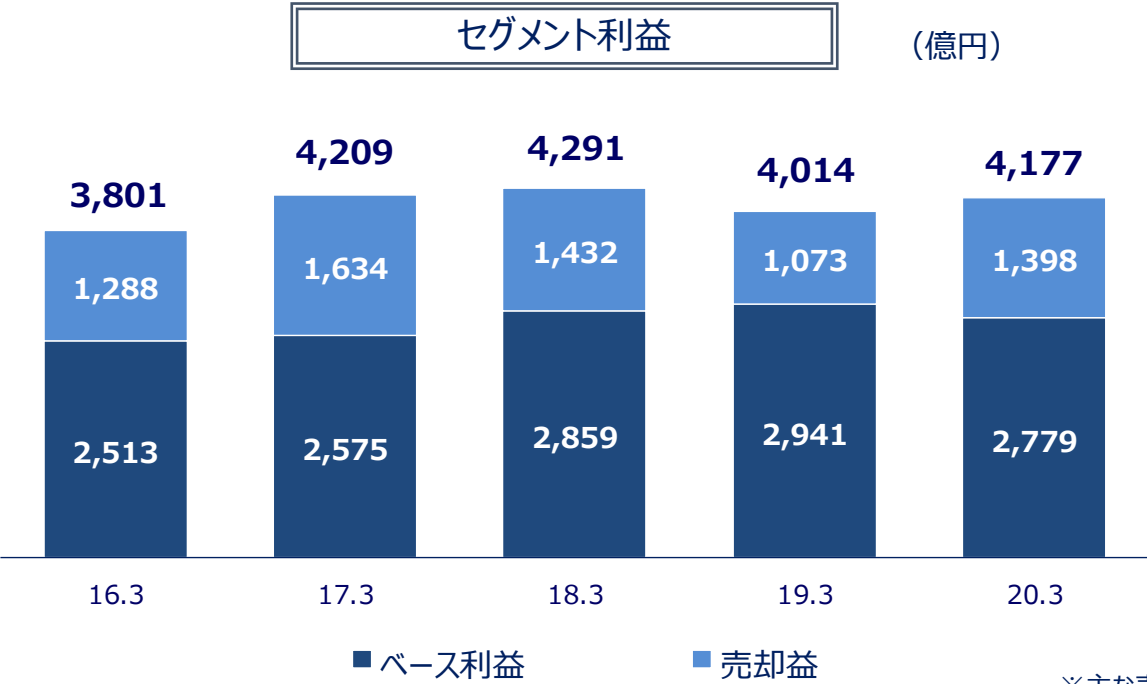


※「当期純利益」は「当社株主に帰属する当期純利益」を指します。

業績総括（2）セグメント利益の内訳



20.3期 セグメント利益 4,177億円 前期比+4.1% (+163 億円)	うち ベース利益	2,779億円 前期比▲5.5% (▲162億円) 新規投資の貢献(NXT Capital, Avolon) はあるが、法人金融の減益もあり、減益
	うち 売却益※	1,398億円 前期比+30.3% (+325 億円) オリックス・リビングの売却益に加え、Houlihan Lokey社の全株売却も完了

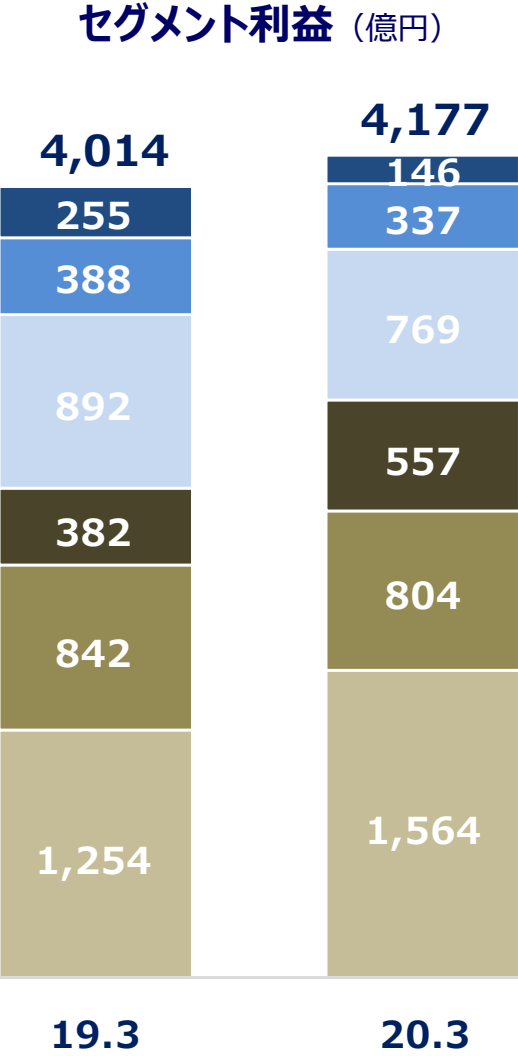


過去5年間のトレンド

- ・ 売却益：平均 約1,300億円
- ・ ベース利益：安定的に成長

※主な売却益：賃貸不動産売却益、子会社・関連会社株式売却益、有価証券売却益など

業績総括 (3) セグメント業績



(億円)	セグメント利益	セグメント資産	セグメント資産 ROA(%)	ハイライト
	前期比	前期末比	前期末比(%)	
法人金融 サービス	146 ▲ 109	9,483 ▲ 115	1.1 ▲ 0.7	●法人向け定期保険販売停止の影響が大きく減益 ●案件選別を続けており、金融資産は緩やかに減少
メンテナンス リース	337 ▲ 51	8,896 158	2.6 ▲ 0.5	●資産は積み上げにより緩やかに増加 ●トップラインは伸びるが、サービス向上に向けた販管費増加等により減益
不動産	769 ▲ 124	7,497 295	7.2 ▲ 0.9	●オリックス・リビングを売却、AMビジネス好調 ●売却により資産は減少するものの、新規投資も継続
事業投資	557 175	8,471 1,135	4.8 1.1	●PE投資2件の売却益もあり、大幅増益 ●コンセッション好調（新型コロナの影響は21.3期から）
リテール	804 ▲ 38	41,839 6,125	1.4 ▲ 0.3	●生命保険は契約件数伸長も、旧ハートフォード生命で損失計上し、減益 ●銀行、クレジットは堅調、増益
海外	1,564 310	32,874 1,485	3.3 0.3	●前期の投資（NXT、Avolon）が寄与し大幅増益 ●Houlihan株式、UAF株式、RobecoSAMの一部門等を売却
合計	4,177	109,060	2.9	—

セグメント別業績（1）法人金融サービス

※1億円未満を四捨五入して表示しているため、各ビジネスユニットの合計値は、必ずしもセグメント数値とは合致しません



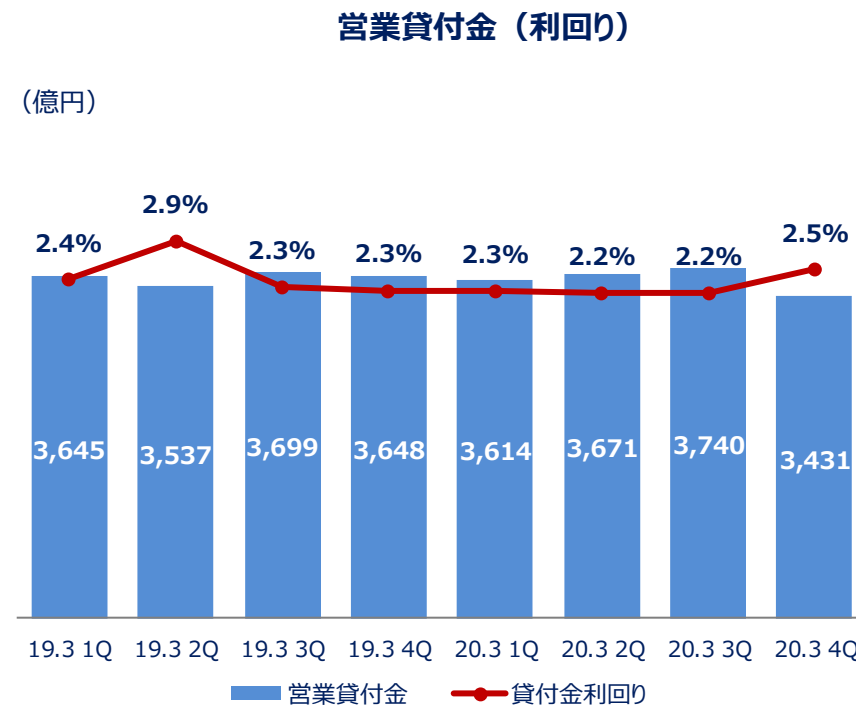
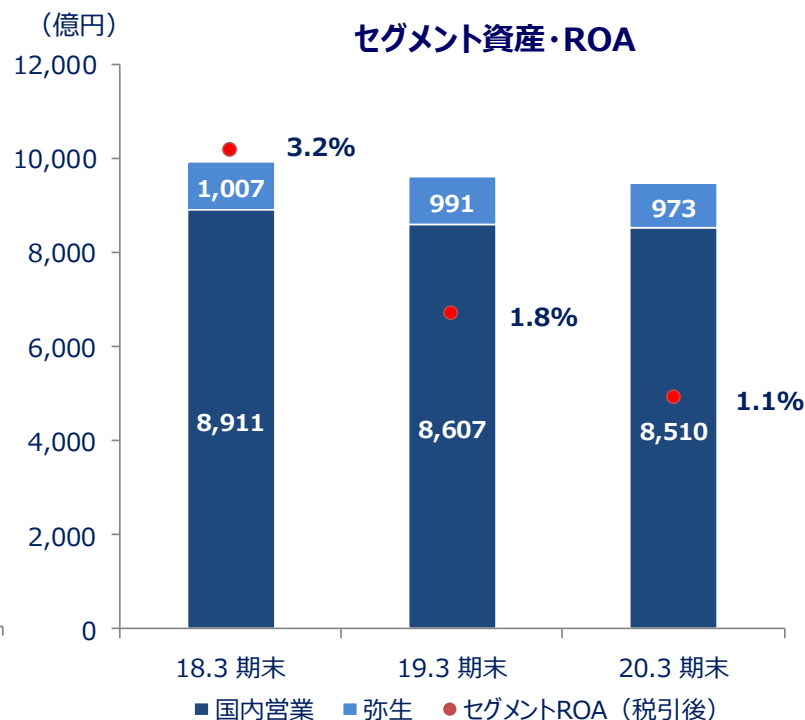
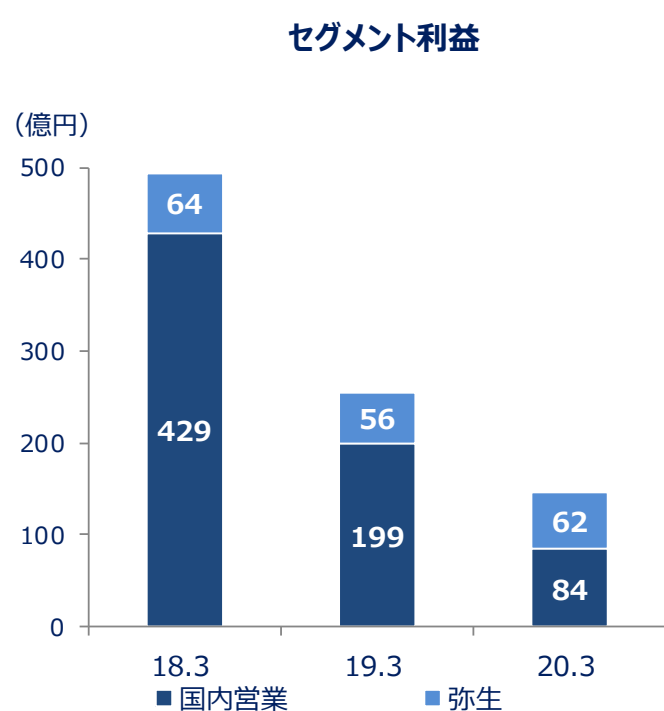
セグメント利益：146億円 前期比 ▲109億円（▲43%）

- ✓ 生命保険の代理店手数料収益減少、営業貸付金利回りは維持
- ✓ 弥生は有償サポート会員増とパッケージ製品の売上増加

【会計基準変更による影響：IDC（初期直接費用）▲18億円】

セグメント資産：9,483億円 前期末比 ▲115億円（▲1%）

- ✓ 新リース会計基準によりオペレーティング・リースが増加（+531億円）
- ✓ 案件選別を続けており、金融資産は緩やかに減少



貸付金利回り = 金融収益のうち貸出金利息 ÷ 営業貸付金の平残

セグメント別業績（２）メンテナンスリース

セグメント利益：337億円 前期比 ▲51億円（▲13%）

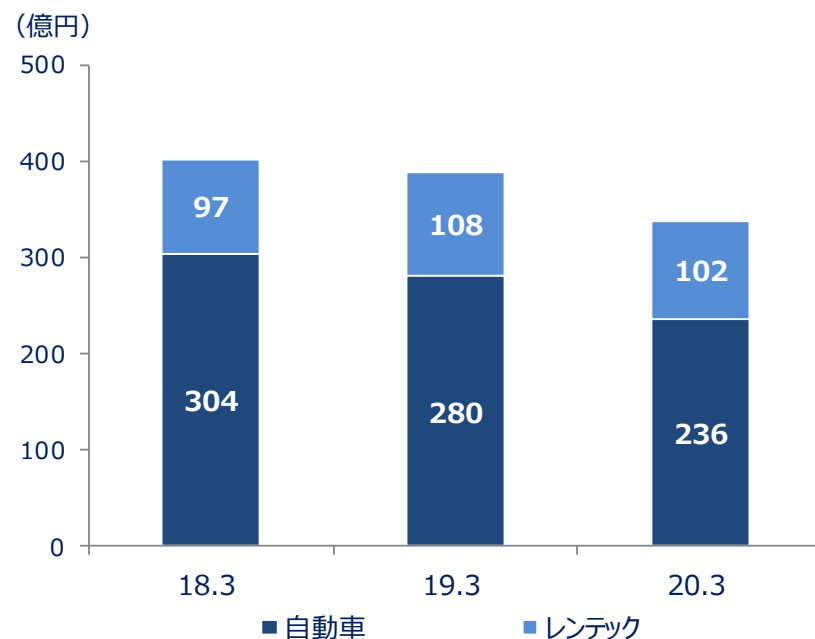
- ✓ 自動車・レンテックともに増収
- ✓ サービス向上に向けた販管費の増加等により減益

【会計基準変更による影響：IDC（初期直接費用）▲26億円】

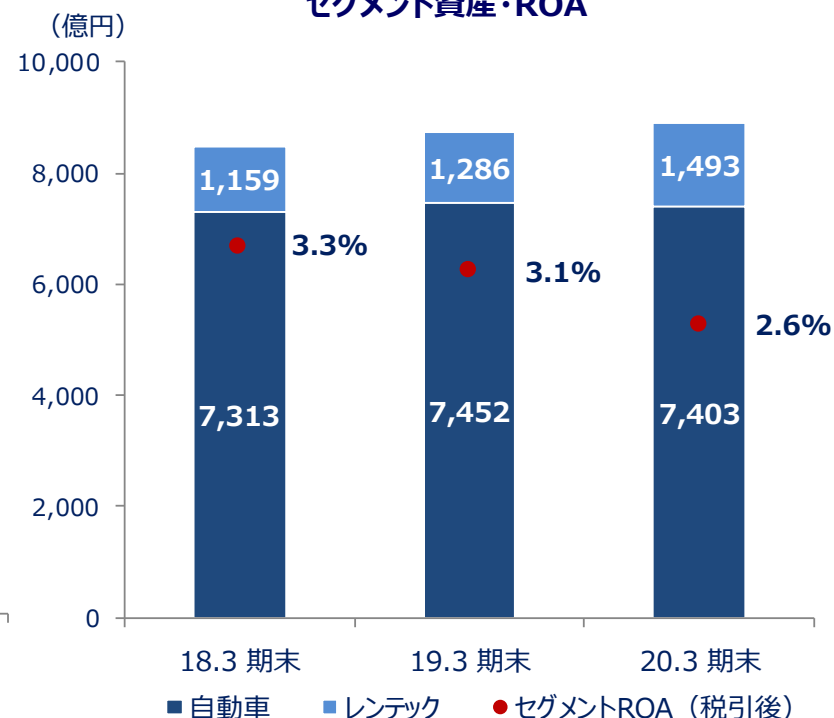
セグメント資産：8,896億円 前期末比 +158億円（+2%）

- ✓ IT関連のレンタル資産が増加
- ✓ 自動車の資産は前期末比横ばい

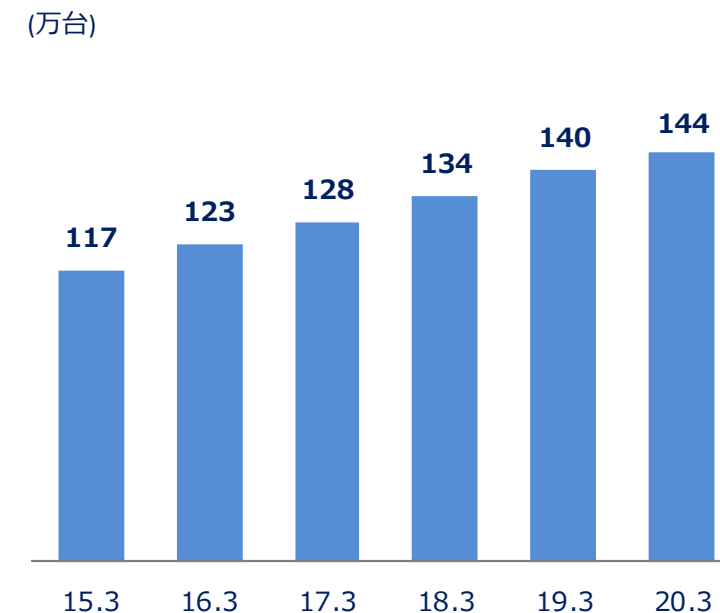
セグメント利益



セグメント資産・ROA



オリックス自動車の車両管理台数



セグメント別業績（3）不動産

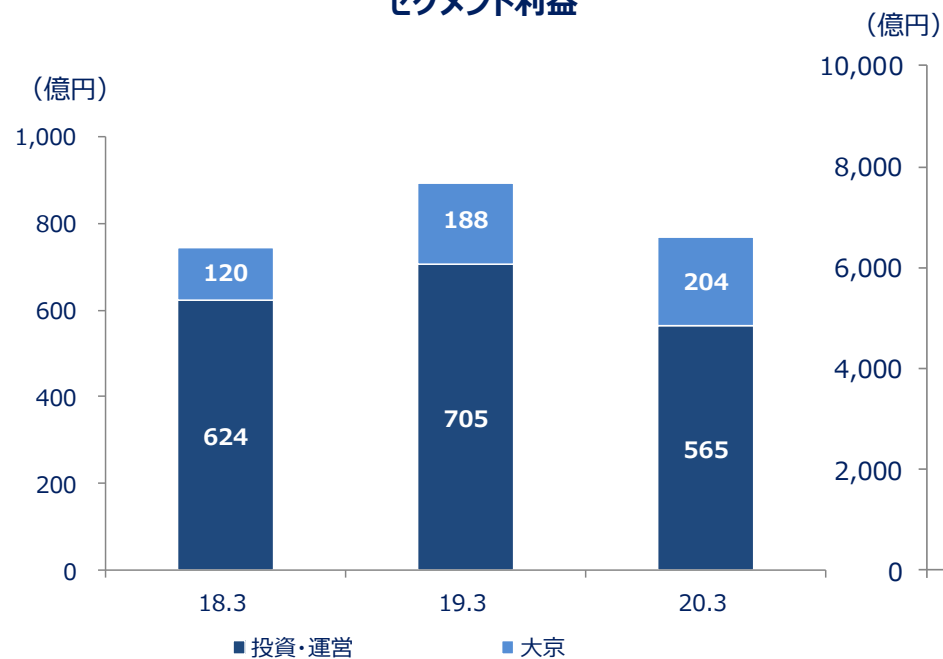
セグメント利益：769億円 前期比 ▲124億円（▲14%）

- ✓ 第2四半期でオリックス・リビングの売却益を計上
- ✓ 大京は、消費税増税の駆け込みによる請負工事増加により増益

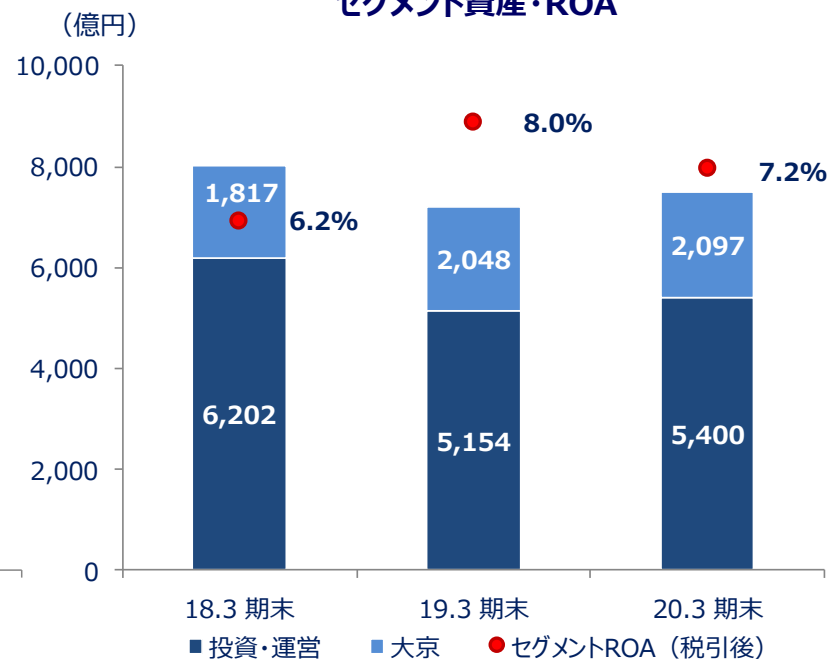
セグメント資産：7,497億円 前期末比 +295億円（+4%）

- ✓ 売却により資産は減少するものの、新規投資も継続
- ✓ 新リース会計基準によりオペレーティング・リース資産が増加（+904億円）

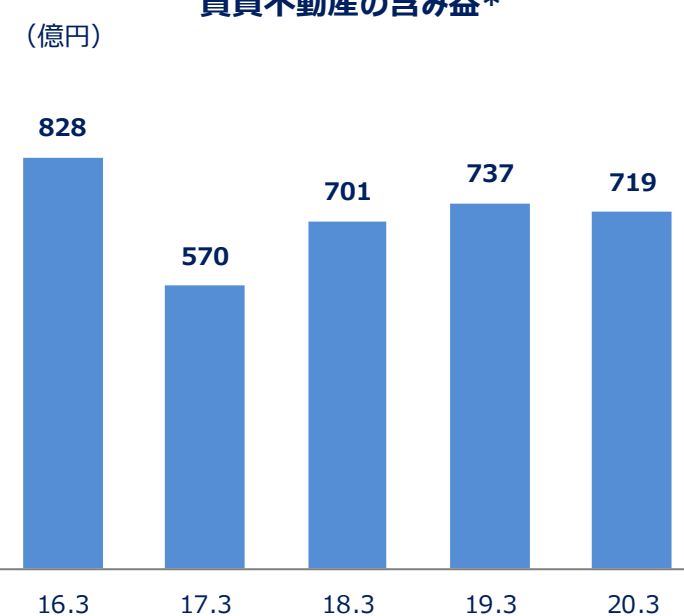
セグメント利益



セグメント資産・ROA



賃貸不動産の含み益*



*不動産以外のセグメントの賃貸不動産も含む

*運営事業の資産は含まない

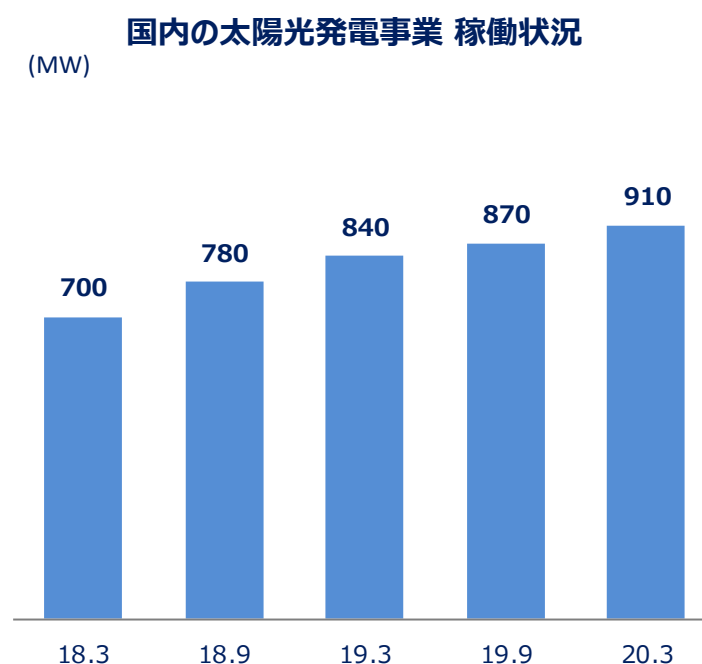
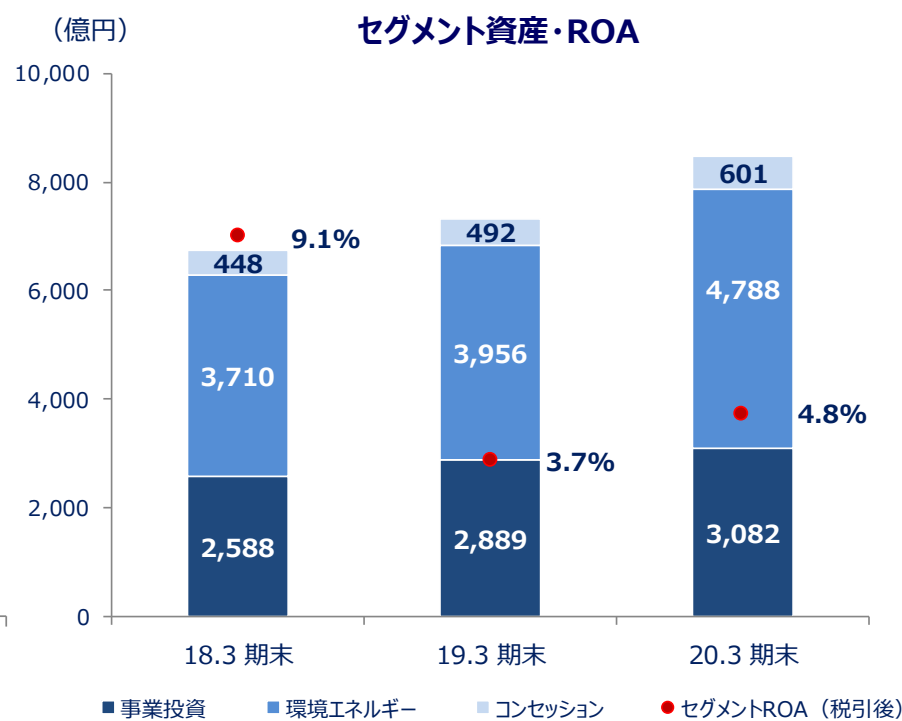
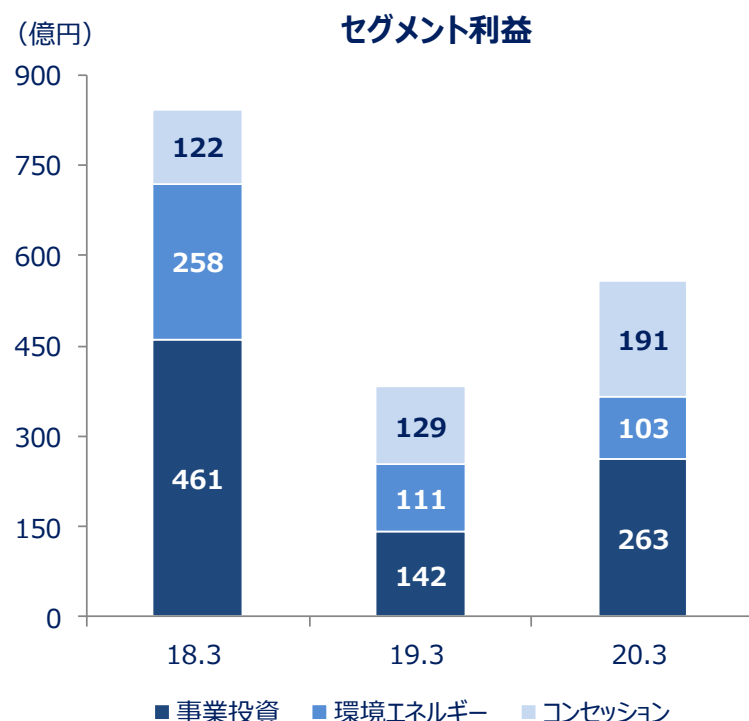
セグメント別業績（４） 事業投資

セグメント利益：557億円 前期比 +175億円（+46%）

- ✓ PE投資で2件の売却益、コンセッションも好調（新型コロナの影響は21.3期以降）
- ✓ 国内の太陽光発電事業は堅調に推移

セグメント資産：8,471億円 前期末比 +1,135億円（+16%）

- ✓ 国内PE投資では、新規投資2件、売却2件を実行
- ✓ 環境エネルギーでは新リース会計基準により事業用資産が増加（+344億円）、また海外の風力発電事業の投資先を完全子会社化



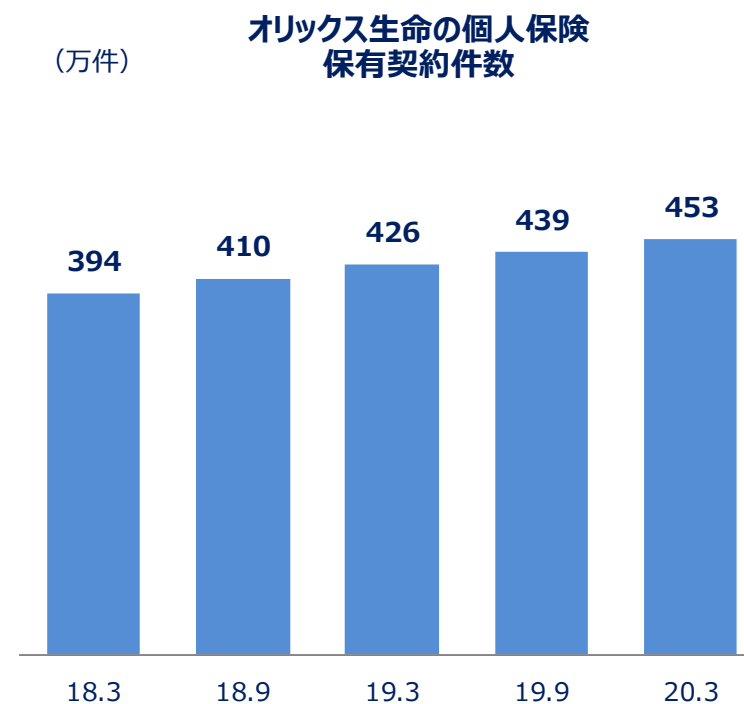
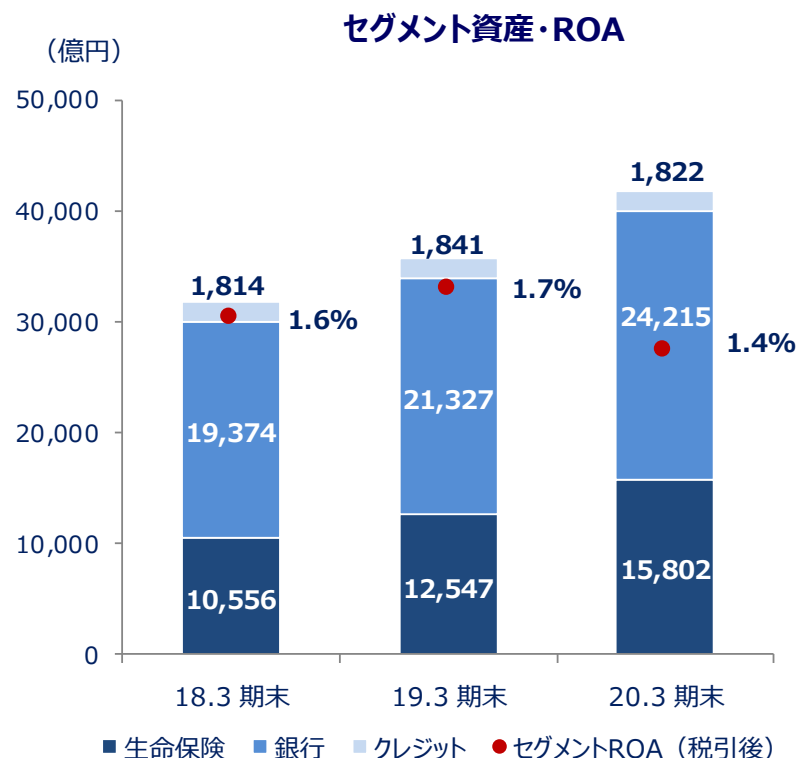
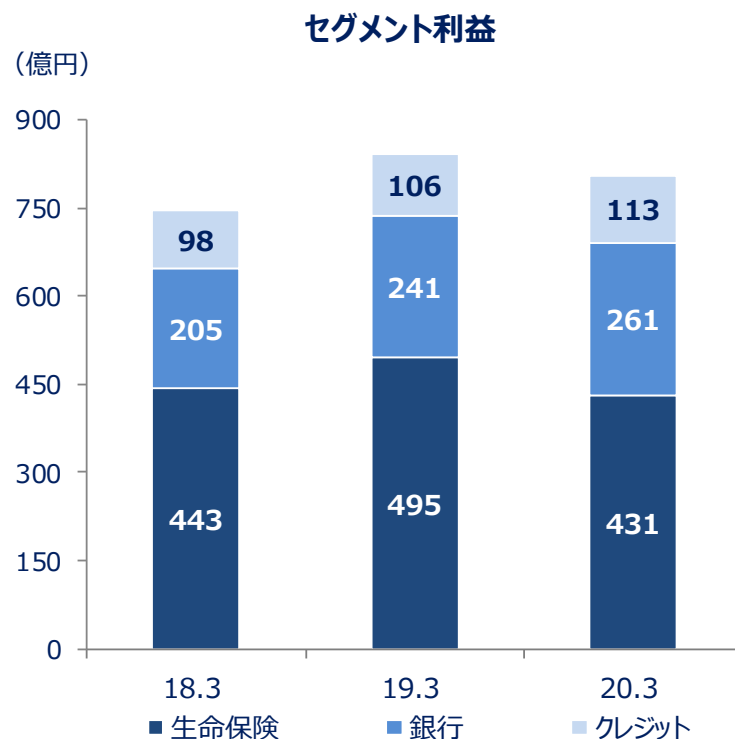
セグメント別業績（5）リテール

セグメント利益：804億円 前期比 ▲38億円（▲5%）

- ✓ 生命保険の保険料収入が増加も、資産運用収益は減少（4Qには旧ハートフォード生命にて91億円の損失）
- ✓ 銀行の金融収益が伸長

セグメント資産：41,839億円 前期末比 +6,125億円（+17%）

- ✓ 生命保険の投資有価証券が増加
- ✓ 銀行の営業貸付金が増加



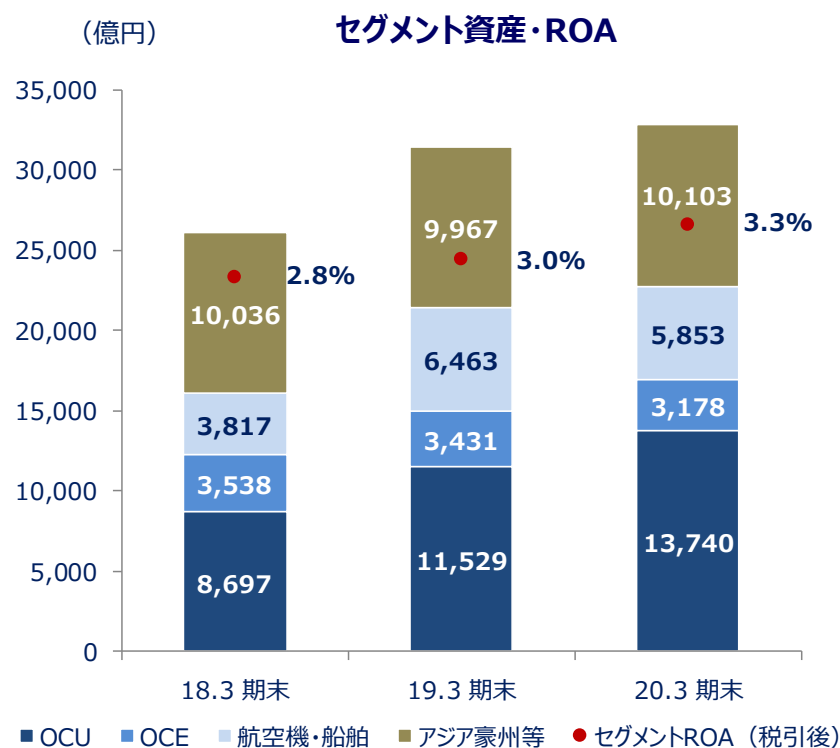
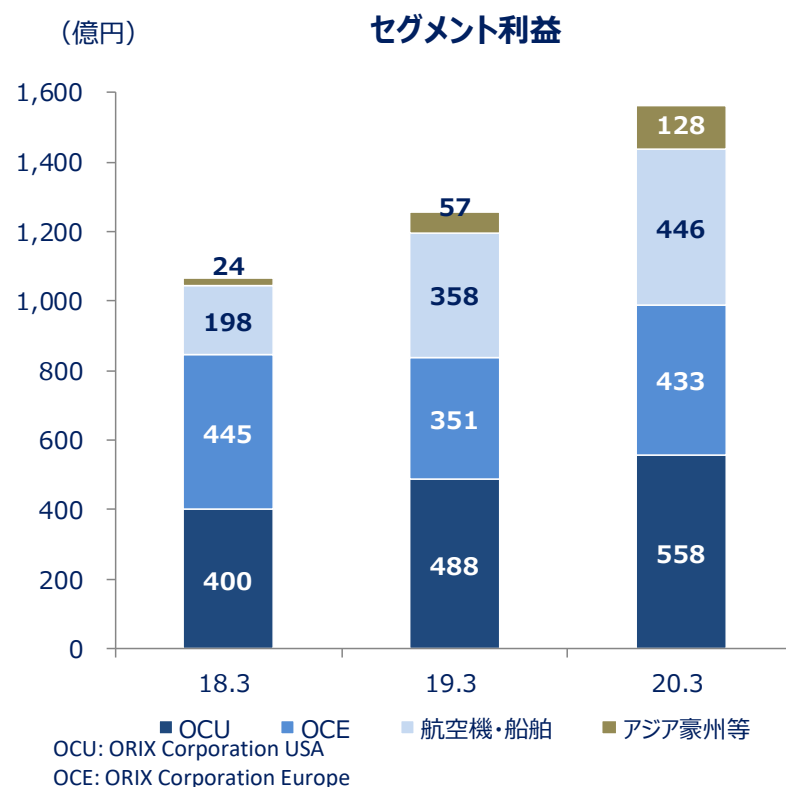
セグメント別業績（6）海外

セグメント利益：1,564億円 前期比 +310億円（+25%）

- ✓ 19.3期の新規投資が貢献（NXT Capital, Avolon）
- ✓ OCEでRobecoSAMの一部門（ESGデータの収集・分析・評価部門）売却
- ✓ 為替影響▲46億円

セグメント資産：32,874億円 前期末比 +1,485億円（+5%）

- ✓ 米国で営業貸付金、航空機事業でオペレーティング・リースが伸長
- ✓ 為替影響▲1,227億円を除くと、前期末比+2,713億円



新規投資による利益貢献

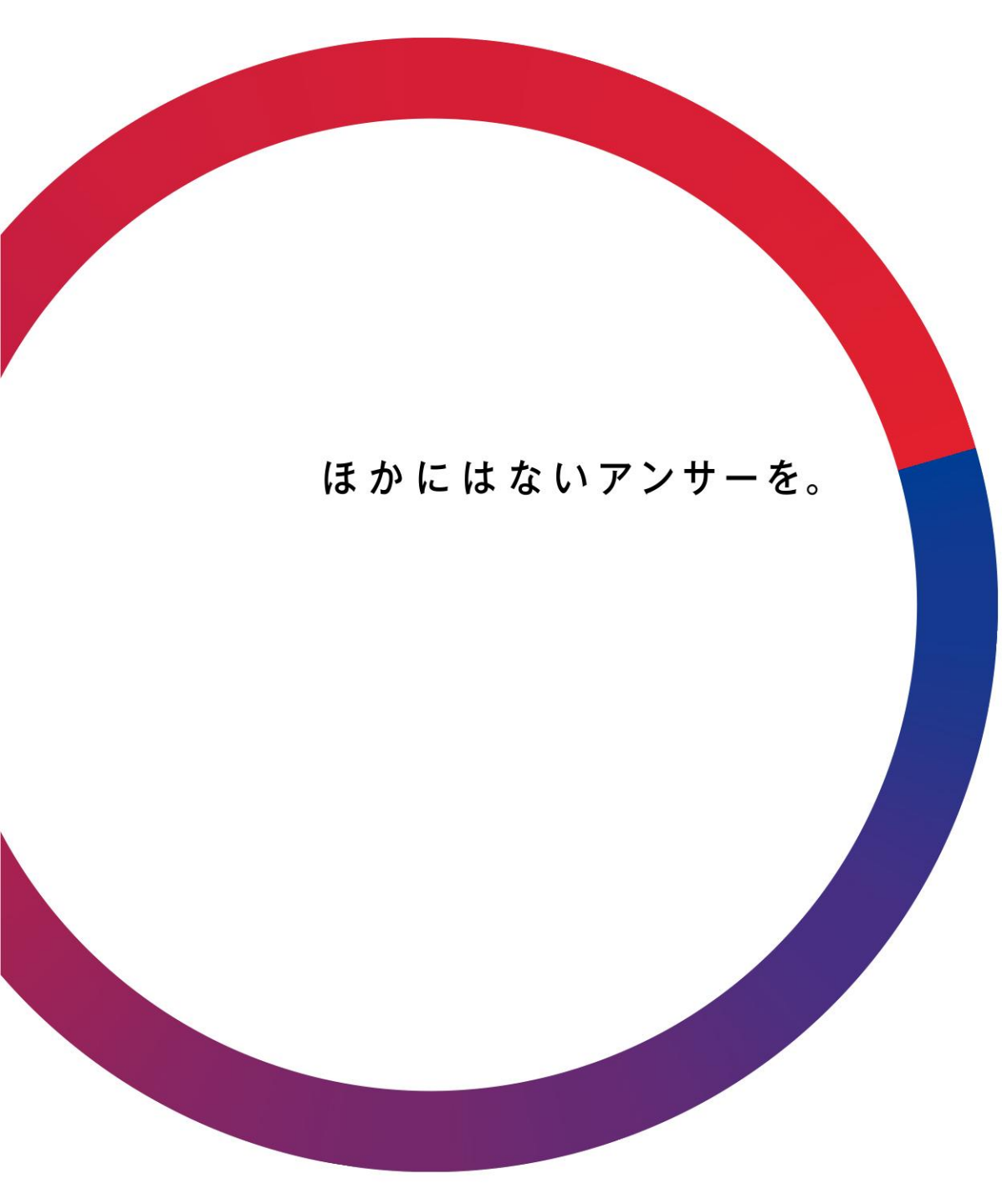
19.3期 大型投資案件	20.3期 セグメント利益
NXT Capital (ローン組成・資産運用)	102億円
Avolon (航空機リース)	175億円

本資料に掲載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に係る見通しであり、これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

従いまして、これらの見通しのみに全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることを、ご承知おきください。

これらの見通しと異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社がアメリカ合衆国証券取引委員会（SEC）に提出しておりますForm20-Fによる報告書の「リスク要因（Risk Factors）」、関東財務局長に提出しております有価証券報告書および東京証券取引所に提出しております決算短信の「事業等のリスク」に記載されておりますが、これらに限られるものではありません。

なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。



ほかにはないアンサーを。

オリックスに関する追加情報については弊社ホームページをご参照いただくか、下記までご連絡下さい。

投資家情報

URL: <https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/>

IR資料室

URL: <https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/library/>

オリックス株式会社 経営計画部

〒105-6135 東京都港区浜松町2-4-1

TEL : 03-3435-3121

FAX : 03-3435-3154